



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 マーチャント・バンカーズ株式会社
 コード番号 3121 URL <http://www.mbkworld.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 一木 茂
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼財務経理部長 (氏名) 高崎 正年
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5224-4900

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	923	27.8	28		62		56	
29年3月期第2四半期	1,279	10.8	5	65.3	13		18	

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 54百万円 (%) 29年3月期第2四半期 54百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	2.07	
29年3月期第2四半期	0.68	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	7,441	3,130	41.9	114.12
29年3月期	6,398	3,137	49.0	115.77

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 3,121百万円 29年3月期 3,137百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		2.00	2.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,215	13.3	150	743.1	77		47	68.3	1.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	27,367,556 株	29年3月期	27,117,556 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	13,934 株	29年3月期	13,815 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	27,115,987 株	29年3月期2Q	26,702,254 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において、入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(以下「当第2四半期」)の我が国経済は、緩やかな回復基調が続いております。先行きについても、雇用・所得環境の改善が続かなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されるものの、アメリカの今後の政策の動向、中国をはじめとするアジア新興国等の経済の先行きなどの海外経済要因や、金融市場の変動による影響に留意する必要があります。

当社グループの主要な事業領域についてみると、国内外の金融・不動産市場及び国内のホテル・レジャー市場は、海外経済の不確実性の影響を受けつつも、概ね堅調に推移しているといえます。

このような経済状況のもと、当第2四半期の当社グループは、新規賃貸用不動産の取得、オペレーション事業の各拠点における収益向上のためのさまざまな取り組みを積極的に進め、収益力の向上とさらなる安定化をはかってまいりました。

以上の結果、当第2四半期の当社グループの業績は、売上高923百万円(前年同期比27.8%減)と減収となり、新規不動産取得にかかる費用29百万円や「加古川プラザホテル」でのエアウィーブ等導入費用11百万円を計上し、営業損失28百万円(前年同期は営業利益5百万円)、経常損失62百万円(前年同期は経常損失13百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失56百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失18百万円)となりました。

報告セグメントごとの業績及び直近の状況は、次の通りであります。

(マーチャント・バンキング事業)

当社グループは、当事業部門におきまして、主に国内外の企業及び不動産向けの投資事業を営んでおります。

当第2四半期は、前連結会計年度に取得した収益マンション4件の家賃収入が貢献し、売上高202百万円と、前年同期に対し12.7%増となりました。当第2四半期におきましては、大阪市中央区並びに名古屋市中区に収益マンション2件を取得、取得にかかる費用29百万円を計上したため、セグメント利益は34百万円と、前年同期に対し10百万円(24.2%)減少しました。

(オペレーション事業)

当社グループは、当社及び株式会社ホテルシステム二十一(連結子会社)において、宿泊施設、ボウリング場及びインターネットカフェ店舗の運営、並びに給食業務の受託を行っております。

平成29年6月の「ホテルJALシティ松山」の営業満了(以下「撤退事業所」)による影響を考慮した前年同期との比較は下記のとおりであります。

(単位：百万円)

	前年同期	当第2四半期	
			対前期比増減率
売上高	898	721	△19.7%
うち撤退事業所分	332	168	—
差引	565	553	△2.2%
セグメント利益	22	11	△49.3%
うち撤退事業所分	1	△1	—
差引	20	12	△35.9%

前年同期に対し、加古川近隣でのホテルの新規出店に伴う競争激化に伴い、「加古川プラザホテル」の稼働率低下等に伴い、撤退事業所による影響を考慮した売上高は、前年同期に対し、2.2%減少しました。また、「加古川プラザホテル」でのエアウィーブ等導入費用11百万円を計上し、撤退事業所による影響を考慮したセグメント利益は、7百万円(35.9%)減少いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産残高は7,441百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,043百万円増加いたしました。現金及び預金の減少452百万円、有形固定資産の増加1,484百万円が主な変動要因であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債残高は4,310百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,050百万円増加いたしました。長期借入金(1年内返済予定のものを含む)の増加1,112百万円、未払費用の減少35百万円が主な変動要因であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産残高は3,130百万円で、前連結会計年度末に比べ7百万円減少いたしました。資本金の増加46百万円、資本準備金の増加46百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失56百万円が主な変動要因であります。

この結果、自己資本比率は41.9%（前連結会計年度末は49.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月12日付当社「平成29年3月期決算短信」において公表した通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,243,864	791,412
受取手形及び売掛金	111,618	84,842
営業投資有価証券	314,763	308,894
販売用不動産	50,000	50,000
商品及び製品	1,581	1,369
原材料及び貯蔵品	12,303	7,714
その他	88,266	141,158
流動資産合計	1,822,397	1,385,391
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,225,883	3,182,041
土地	1,825,302	2,357,784
その他(純額)	61,792	57,712
減損損失累計額	△113,031	△113,031
有形固定資産合計	3,999,946	5,484,506
無形固定資産		
のれん	215,951	204,021
その他	2,474	2,921
無形固定資産合計	218,426	206,942
投資その他の資産		
投資有価証券	239,830	234,264
敷金及び保証金	95,171	90,316
その他	24,719	42,224
貸倒引当金	△1,920	△1,920
投資その他の資産合計	357,801	364,885
固定資産合計	4,576,174	6,056,335
資産合計	6,398,571	7,441,727

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	61,690	40,342
1年内返済予定の長期借入金	1,149,300	1,180,485
未払費用	102,647	67,186
賞与引当金	—	9,840
役員賞与引当金	—	720
その他	88,953	63,525
流動負債合計	1,402,591	1,362,099
固定負債		
長期借入金	1,737,409	2,818,294
長期預り敷金保証金	68,532	73,746
その他	52,141	56,784
固定負債合計	1,858,083	2,948,825
負債合計	3,260,674	4,310,924
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,701,272	2,747,522
資本剰余金	389,618	435,868
利益剰余金	63,953	△46,296
自己株式	△2,786	△2,835
株主資本合計	3,152,057	3,134,258
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△14,160	△12,680
その他の包括利益累計額合計	△14,160	△12,680
新株予約権	—	9,225
純資産合計	3,137,897	3,130,802
負債純資産合計	6,398,571	7,441,727

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	1,279,332	923,725
売上原価	512,507	369,704
売上総利益	766,825	554,020
販売費及び一般管理費	761,429	582,660
営業利益又は営業損失(△)	5,395	△28,639
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	4	—
貸倒引当金戻入額	870	—
その他	885	1,008
営業外収益合計	1,766	1,015
営業外費用		
支払利息	13,588	21,082
支払手数料	6,829	7,430
その他	150	6,468
営業外費用合計	20,567	34,981
経常損失(△)	△13,405	△62,606
特別利益		
新株予約権戻入益	924	—
投資有価証券売却益	—	10,000
特別利益合計	924	10,000
特別損失		
固定資産除却損	79	—
特別損失合計	79	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△12,561	△52,606
法人税、住民税及び事業税	18,398	3,494
法人税等調整額	△12,688	△58
法人税等合計	5,709	3,436
四半期純損失(△)	△18,271	△56,042
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△18,271	△56,042

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純損失(△)	△18,271	△56,042
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36,104	1,479
その他の包括利益合計	△36,104	1,479
四半期包括利益	△54,376	△54,562
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△54,376	△54,562

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	マーチャント・バンキング事業	オペレーション事業	マニファクチュアリング事業			
売上高						
外部顧客への売上高	179,219	898,341	201,772	1,279,332	—	1,279,332
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	179,219	898,341	201,772	1,279,332	—	1,279,332
セグメント利益	45,246	22,026	16,806	84,079	△78,683	5,395

(注) 1. セグメント利益の調整額△78,683千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費によりなっております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	マーチャント・バンキング事業	オペレーション事業			
売上高					
外部顧客への売上高	202,049	721,675	923,725	—	923,725
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	202,049	721,675	923,725	—	923,725
セグメント利益	34,278	11,161	45,439	△74,079	△28,639

(注) 1. セグメント利益の調整額△74,079千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費によりなっております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。